



福島原発事故の被災地域に住む子どもたちのための

第3回 たかつき保養キャンプ

七月二十八日から始まった。たかつき保養キャンプ。NPOみなどはカンパと水を届けました。カンパの額に「ケタが違うのではないかと思った」と喜びの声をもらいました。で、私はと言えばほんの少しだけボランティアに行ってきました。

この夏は福島県と埼玉県から十七人の子ども（三歳から高一）たちと五人の保護者が参加しました。小学校二年生の女の子が一人で参加しても

いました。彼女は一週間のたかつきキャンプが終わったなら、次のキャンプ地に行くという。不安と心配を後ろへ追いやり「一日でも長く、保養へ」と送り出したお母さんの思いが伝わってきます。食事班は体内に溜まった毒物を排出させること（デトックス）を可能な限り追求し、昔の人々が当たり前のように口にしていた、そして、今はとても高価な無添加、無農薬の食材と調味料を使って料理とおやつを作りました。

その中でもデトックスの筆頭にあげられるのはNPOみなどのミネラルウォーター。地底旅行だと言います。三食一週間の食事作りを担当するボランティアたちはそれぞれのスケジュールを調整しつつ、数名が集まってレシピとにらめっこしながら、「あーや、こーや」と言いながら料理していきま

す。スローフードは下準備が重要であり、その作業は楽しく、とても豊かなものを感じます。食べるた

めにする、生活することが労働だった時代に思いを馳せてしまう。また、昨年は無邪気に参加していた子たちが思春期・反抗期男子になって戻ってきて周囲の大人たちを戸惑わせたりもしていました。でも、「手

届けたミネラルウォーター「地底旅行」70リットル。



伝って」と言えば「ちっ」と横向きながらも手伝ってくれる笑ってしまいそうなの、「うるっ」ときそうなの三男子たちでした。被災地の状況は四年たっても被ばくの影響は薄れていません。が「まだ保養に出すのか」という声も大きくなっています。安全と信じこむことで生活している住民と子どもたちを放射能被害から少しでも守りたいと心を砕く人たちのあつれき。それが家族の間でのあつれきとなるとより深刻で、夫婦別れの原因にもなっていると聞きました。この国の政治は具体的に人々を不幸にしている。

原発の再稼働なんてやめてもらいたい。すべてを廃炉にしてもらいたい。桜島が噴火して避難する人たちがいるのに、なんで川内原発を動かすか。フクシマをなかったことになんか絶対にできない。【NPOみなど】

おしりちゃんも おばあちゃんも 子どもたちも
連合向組合員も NPOみなど会員も

みんな楽しく

第37回 交流秋まつり

争議支援 バザー
将棋 コーナー
子ども コーナー
ほかに
歌と演奏
カラオケ
屋台

★ 今年は何が
当たるかな?
ビンゴ
ゲーム

2015年10月4日(日)
午前10時スタート
田中機械構内(キングマンション隣)
入場無料/雨天決行
ご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。
(10:00~15:30くらいまで)

【主催】全国金属機械労働組合 港合同
港合同 もちつき実行委員会
【共催】特定非営利活動法人 NPOみなど
【お問い合わせ】06(6583)4858

10・2

関西国鉄集会

解雇撤回! 外注化阻止! 戦争法案粉碎!
動労総連合を全国につくろう!
国鉄闘争全国運動に結果しよう!
階級的労働運動で社会を変えよう!

10月2日(金) 午後6時開場・6時30分開始
大阪市・浪速区民センター
(主催) 国鉄闘争全国運動関西
(連絡先) 全国金属機械労働組合港合同
大阪市港区南市岡3-6-26 tel 06-6583-4858



ご協力ください

秋まつりのバザーに出す物品を集めています。組合員一人一点以上のご協力をお願いします。一〇月二日までに各もちつき実行委員に渡してもらおうか、田中機械支部へ持ち込んでください。よろしくお願ひします。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!